

第1回寄居町まちづくり計画策定町民会議（開催概要）

1. 日時

令和2年10月27日（火） 10：30～12：00

2. 会場

寄居町役場 6階会議室

3. 参加者

杉山委員、清水委員、矢部委員、関根委員、槇田委員、新井委員、澤田委員、権田委員、浅見委員

4. 会議次第

1. 開会
2. 趣旨説明（資料1）
3. 委員長及び副委員長の互選
4. 委員長及び副委員長あいさつ
5. 議題
 - （1）第6次寄居町総合振興計画・後期基本計画の策定について（資料2）
 - （2）町民意識調査等について（資料3-1、3-2）
 - （3）意見交換（資料4、資料5）
 - （4）その他
6. 閉会

5. 配布資料

寄居町まちづくり計画策定町民会議第1回会議次第

【資料1】寄居町まちづくり計画策定町民会議設置要綱

【資料2】第6次寄居町総合振興計画後期基本計画の策定について

【資料3-1】寄居町町民意識調査速報

【資料3-2】寄居町中生意識調査速報

【資料4】持続可能な開発目標（SDGs）とは

【資料5】新しい生活様式とは

意見交換で出されたもの

①寄居町内で SDG s の認知度を高めるにはどのような方法が効果的であるか

- 現在 SDG s については教育現場で正直あまり浸透していない。しかし、過去に ESP 教育を一時的に行っていた時代もあり、その延長線上と考えている。今後は教育現場でも積極的に取り組んでいく必要があると認識している。
- 新聞の活字としている見ているくらいで、正直今までよく知らなかった。町民の皆さんはアンケートであれば協力するという姿勢が見受けられたので、町から積極的に問い合わせや周知をしていったらどうか。
- 金融機関の取り組みとしては、多くの金融機関職員は SDG s バッジを付けていることが多い。また、例えばであるが、悪いエネルギーを使用している企業には融資をしない、手数料の一部を寄付、飲食業を営んでいるお客様のお店と子供食堂をつなぐ等の取り組みを行っている。業界の中では、SDG s を取り入れることで社会的な評価が上がるという仕組みもあるようだ。いずれにしても企業の中で SDG s の意識は高まっていると思う。

②新しい生活様式を踏まえたまちづくりについて、どのような取り組みが重要・課題になるのか

- 密にならないことがまず重要であり、先生～人に対して生徒～人という定数の徹底や、仕事をしないと生活が成り立たない親御さんのフォローをしていく必要がある。（例えば、保育所でコロナが発生してしまったときの対応など。）また、公共施設の統廃合を今後行っていくという話があるが、三密を避ける今こそ、そのような児童が少ない学校施設も積極的に使用していくべきだと思う。
- 土曜も登校日としたらどうか。今年は特に日程が厳しく、1年間のカリキュラムを何とか終わらせられるような状況と伺った。そのため夏休みを返上して登校をさせていたが、熱中症等の事故が起きたときのことを考えると心配だったため、何らかの対応や考慮をする必要があると思った。また学校関係のことではないが、コロナにより町民がマイカーを使用する頻度がさらに増えたと感じ、高齢者の運転もしばしば見受けられる。まちづくりをしていくうえで、公共交通機関の運用の仕方を見直したり、マイカーを使用する方についての補助や対応が必要と感じる。

- コロナの影響で、秩父線沿いに秩父・熊谷・寄居の3つの地区労があるが全ての地区労で今年度の行動は全て延期・中止となり、労働運動には非常に影響を与えられている。寄居地区労に加入する皆さんの雇用は今のところ守られているが、労働界全体としては危ぶまれているというのが現状である。